

2018年度 立教オリパラ応援団シンポジウム

～ 2020年 東京大会にむけて私たちにできること～

2年後の開催が迫る東京オリンピック・パラリンピック。世界の200以上の国・地域から選手や大会関係者が参加するほか、国内外からの多数の観光客が見込まれるこのビッグイベントでは、合計で**9万人以上のボランティアが必要**とされています。

そして、その募集が**2018年夏(7月下旬募集要項発表)**に開始されます。

そこで、現役アスリートやスポーツボランティアに携わった方々をお迎えし、2020年にむけて私たち一人ひとりができることについて考えるシンポジウムを開催します。

日時 2018年4月21日(土)14:00～16:45 (受付 13:30～)

会場 池袋キャンパス 14号館 D301 教室

(会場 URL : <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>)

入場無料／要申込み(先着順)／定員 200名

基調講演 講師

澤川 和宏 氏

1990年文部省入省。
高等局専門教育課長、振興局学術機関課長、内閣参事官(内閣官房副長官補付)を歴任し、2015年10月よりスポーツ庁政策課長。



初瀬 勇輔 氏

2008年北京パラ視覚障害者柔道90kg級日本代表／(一社)日本パラリンピアンズ協会理事
1980年長崎県生まれ。弁護士を目指していた大学在学中、緑内障による視覚障害を持つ。失意の底にあったが、高校時代に打ち込んだ柔道を再開することで、障害を克服。2008年には北京パラ出場を果たす。2011年、(株)ユニバーサルスタイルを設立。障害者雇用に、障害を持った当事者としての切り口からアプローチする。視覚障害者柔道の選手としても精力的に活動中。



パネルディスカッション パネリスト

澤川 和宏 氏、初瀬 勇輔 氏、 若杉 遥 氏

2018年立教大学社会学部卒業／
ゴールボール日本女子代表／
2012ロンドンパラ金メダリスト／
在学中に2016リオパラ出場(5位)



若杉 遥 氏

松尾 哲矢 教授

立教大学副総長／
コミュニティ福祉学部教授／
専門はスポーツ社会学



松尾 哲矢 教授

中村 真博 さん

立教大学大学院生／スポーツボランティア経験者

パネルディスカッション コーディネーター

伊藤 数子 氏

NPO法人STAND代表理事

申込方法 など

対象：本学学生、卒業生、教職員、一般
(一部、本学学生向けとなっていますが、一般の方もご参加いただけます。)

アクセス! 申込フォーム



① 申込フォームから

<https://goo.gl/forms/9Cw0WC4dHQosx4B12>

② メールで

宛 先: olypara-pj@rikkyo.ac.jp

記入事項: タイトル「シンポジウム参加希望」

本文「① 学生番号(本学学生の場合) ② 氏名」

申込締切：2018年4月20日(金) 17:00

定員に達し次第、受付を終了します。

主催：

立教大学東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

お問い合わせ先：

立教大学東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト事務局

olypara-pj@rikkyo.ac.jp